

市民農園としての活用取組事例〔熊本県荒尾市〕

1. 地域農業の状況

○ 荒尾市は、熊本県の西北端に位置し、北は福岡県大牟田市、東は小岱山頂を境として玉名郡 南関町、玉名市、南は玉名市、玉名郡長洲町に接し、西は有明海を隔てて長崎県に接している。

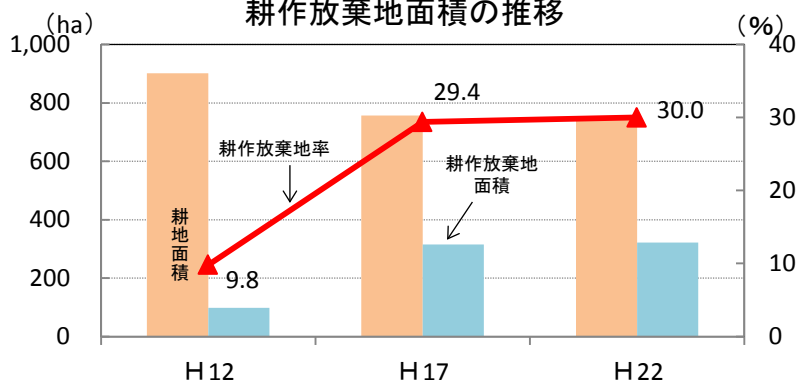


○ 主要作物としては、みかん、梨などの果樹や水稻、畜産も盛んである。現在オリーブの産地化を図っている。

○ 担い手不足及び農産物価格の下落により、みかんや梨を中心とする果樹等について、従事者及び生産額が減少している。荒尾市の耕地面積は1,500ha(平成26年面積調査)であり、耕作放棄地面積は322ha(平成22年農林業センサス)となっている。

○ 本件の取組が行われた農地は、以前はみかん畑が広がっていたが、高齢により長い間耕作放棄されていた。

耕作放棄地面積の推移



2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体 荒尾市

再生面積 0.33ha

作付作物 野菜類

地区名 水野(みずの)地区

取組年次 平成24年～

販路 自家消費

(1) 市民農園の設置

○ 平成14年より玉名農業協同組合所有の土地を借上げ市民農園として荒尾市が運営していたが、所有者の都合により土地の返還を求められたため、平成23年度をもって解約された。
新たな市民農園を設置するため、周辺農地に影響を与えず、市民農園利用上交通の便が良い土地を探した結果、以前みかんを作付けしていた農地が耕作放棄地となっていたため、国の事業を活用して解消し、市民農園として整備を行った。

(2) 区画の整備

○ 新規開設に当たって水道を設置。

【市民農園「水野」の概要】

- ・所在地：荒尾市水野909番地
- ・区画数：14区画(1区画当たり約50㎡)
- ・利用料：年間6,500円



解消前



解消後

活用した支援策

H24～ 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国) (再生作業・施設等補完整備)